

子ども達の豊かな成長・発達のために皆で力を合わせましょう!

教え子を再び戦場に送るな! 2016年6月29日発行NO. 565

教職員がやりがいをもって 仕事のできる賃金・労働条件を

評価システムの賃金リンクやめよ!
意欲の向上につながらない!

○夏期一時金 (ボーナス)

6月30日支給

職員 2.025月

新規採用 0.6075月

再任用 1.025月

※0.03月分は評価制度給与反映のための
原資として差し引かれる!

○学校の評価・育成システム「職員アンケート」
の実施に向けて研究するとの考えを示す

○早出遅出勤務について

①30分早出勤務パターン導入

②「保育所等への送迎」要件を「子を養育するた
め」に拡充

6月20日、府労組連(大教
組 府職労)は府の回答を受
けました。
この間、松井知事あて要求
書にもとづき団体交渉を行い、
職場の代表が深刻な職場実態
にもとづいて追及し、要求実
現を求めてきました。

大阪府当局の回答では、
「人事委員会の勧告は基
本的に尊重する」「(月
例給与引き上げ見送りは)
大変心苦しく思う」と述
べました。
秋の給料の確定に向け
て、民間より低い給料を
あげるように引き続き職
員・教職員の声をあげて
いくことが大切です。

○ボーナス 賃金
リンクで格差拡大
30代半ば (年間)

SS評価と20万円
S評価と10万円の差

学校長による年度末の
評価によって、A評価
(標準)と上記のような
差が生まれます。

府教育庁は大教組に対
し、上位評価者が減って、
標準評価者が増えたこと
を説明しています。

府職員の中では、人事
評価に対する職員アンケ
ーが実施されており、評
価に対して、「執務意欲

0.03月分って どれくらい?

月30万円の人だと

$30万 \times 0.03 = 9000円$

給与上位者SS・Sの人
のために0.03月分が差し
引かれているのです。

が低下した」と答える職
員が多数になっていきます。
(詳細 次号で)

○評価システムの
「職員アンケート」
実施の研究

府の職員に対して、人事
評価をどのように受けと
めているのかアンケート
が行われています。今年
度もWEBで個人が特定
されないシステムでアン
ケートを実施。

教職員が「評価育成シ
ステム」をどのように考
えているのかという「職
員アンケート」について、
実施に向けて研究という
一歩前進の回答を府労組
連におこないました。

○早出遅出勤務

現行 8時15分から9
時30分の時間帯の早出遅
出勤務を午前8時〜午後
4時30分も認める。(9
月より)

要件を「子を養育する
ため」に拡充。①在宅で
養育 ②祖父母の家に預
けられている等も取得が可
能となります。

教育勅語暗唱 国家有為の人材育成図る！ 私立小学校が豊中・庄内に

目的：国家有為の人材育成

本番教育

スポットライト教育

本物教育



安倍首相夫人が名誉校長
あの田母神俊雄氏も関連幼稚園推薦人

庄内の第10中学校の西側、音大北側に平成29年4月開校予定（認可申請中）の私立の小学校が建設中です。
名前を「**瑞穂の國小學院**」
学校の目的に「国家有為の人材の育成」を掲げる学校です。そして、安倍首相夫人が名誉校長としてHPに紹介されています。
この小学校の母体は大阪市内にある学校法人塚

教育勅語は、明治天皇が御出された教育にかんする勅語。「朕惟我力皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト深厚ナリ」で始まり、戦争中は国民学校（小学校）で教育勅語を毎日暗唱させられました。修身（道徳）が一番重要な教育の柱に位置づけられました。「一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ」（国が大変になる時は、立ちあがって戦え）と多くの若者が戦場で命を落とし、女性や子どもも国家（天皇）のために個人

時代錯誤の学校！
教育の要として11点あげています。

本幼稚園幼児教育学園。園児に教育勅語を暗唱させるという事でテレビなどでも話題になった幼稚園です。（ユーチューブでその様子を見ることができます）
15年1/8の産経新聞記事より
『安倍首相夫人 アツキーも感涙：園児に教育勅語教える “愛国” 幼稚園』
「卒園後子供たちが潰される」と小学校も運営への見出しで記事になっています。
記事によると
安倍夫人が幼稚園を訪問。園長に「安倍首相ってどんな人ですか？」と問いかけられた園児が「日本を守ってくれる人」と答える姿を見て、涙を浮かべ、言葉を詰まらせながら「ありがとう（安倍首相に）ちゃんと伝えます」と話したといっています。

教育勅語とは

- 「天皇国日本を再認識。皇室を尊ぶ。」
 - 「愛国心の醸成。国家間の確立」
 - 「教育勅語の素読・解釈による日本人精神の育成（全教科の要）」
- 政権のお墨付き(?)で教育勅語を暗唱する小学校が造られようとしています。

明治天皇が出された教育にかんする勅語。「朕惟我力皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト深厚ナリ」で始まり、戦争中は国民学校（小学校）で教育勅語を毎日暗唱させられました。修身（道徳）が一番重要な教育の柱に位置づけられました。「一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ」（国が大変になる時は、立ちあがって戦え）と多くの若者が戦場で命を落とし、女性や子どもも国家（天皇）のために個人

を犠牲にすることを美德と強要されました。
戦後、この教育勅語は学校から排除され、国会でも失効の決議がなされています。
しかし、「（教育勅語には）至極まつとうなことが書かれており、その後、軍国主義教育の推進の象徴のように使われたことが問題」と下村博文（前文科大臣）が語っています。教育勅語の中に、親孝行、兄弟・夫婦仲よく、友だちは信じあうといったことがあることをあげています。
このように、教育勅語を復活させようとする考えが、今の政権中心に根強くあります。

公立学校でも道徳が「教科」にされて、内心（心の中）までが評価されようとしています。
公立学校でも国家に役立つ人材、国のためになんば人間を育てようという動きが強まっています。